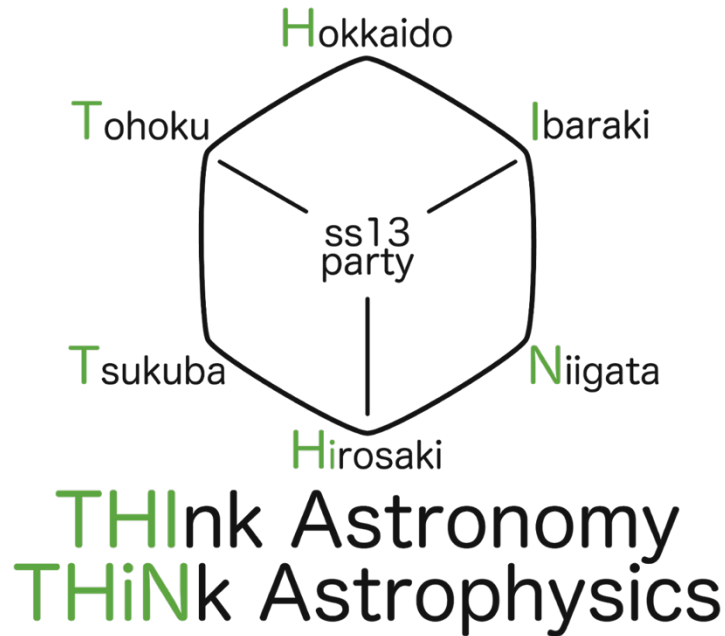


第43回 天文・天体物理若手 夏の学校からの 大事なお知らせ (新M1向け)



2013年度天文・天体物理若手 夏の学校事務局
(北海道大・弘前大・東北大・新潟大・茨城大・筑波大の6大学で構成)

校長：中川 恵介 (新潟大)

副校長：今田 大皓 (筑波大)

事務局長：林 航平 (東北大)

副事務局長：梅井 迪子・中尾 光 (北海道大)

Agenda



1. 夏の学校とは？
2. 夏の学校での発表と準備
3. レジストレーションについて
4. レジストメ切日について

夏の学校とは？

...

夏の学校とは？



天文・天体物理を研究している全国の大学院生が一堂に会して、研究発表・交流を行う研究会

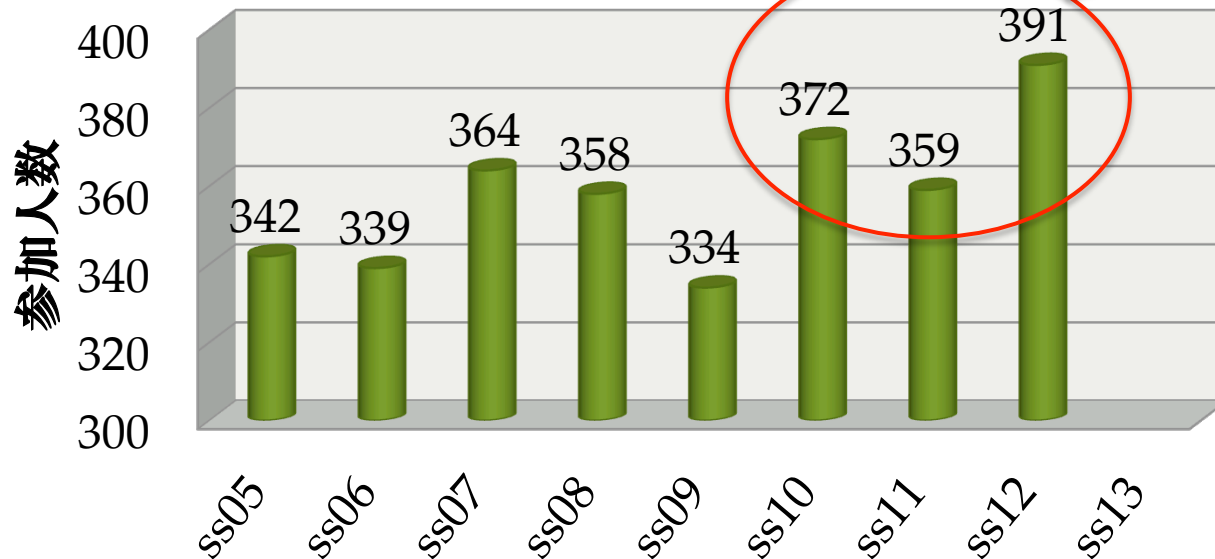


夏の学校の目的と意義

- 若手研究者の育成
 - 参加者の研究活動を促進
 - 若手研究者同士・招待講師との研究交流
 - 招待講師による最先端研究の講演
- 若手研究者からの高い需要



近年の夏の学校参加者数



ここ3年では350人を
超え大型研究会に！

2013年度の開催時期・開催地

- 日時：2013年 7/29～8/1（3泊4日）
- 場所：宮城蔵王ロイヤルホテル（宮城県）

※ 全額では無いですが旅費の補助を致します。



夏の学校の構成



1. 分科会

- ・ 8つの分科会を3パラレルで実施
 - 学生による研究発表（口頭・ポスター）
 - 招待講師による講演

分科会：「重力・宇宙論」「コンパクトオブジェクト」「銀河・銀河団」「太陽・恒星」「星間現象」「星形成・惑星系」「観測機器」「宇宙素粒子」

2. 全体セッション

- ・ 完全公募制の全体企画
 - 参加者全員に関わるセッション

2013年度の全体セッション：「夏の学校の今後を考える」

大規模な研究会に発展している夏の学校だが、一方で運営する事務局の負担が問題に挙げられているのも事実である。
パネルディスカッションを柱に、参加者・事務局双方にとってよりよい夏の学校とは何かを考える。

2013年度夏の学校の新たな取り組み



✓ 現状・問題点とその対策

400人を超える研究会となり
発表時間の確保が困難



講演時間の十分な確保

質の低下が指摘されている



発表者の準備不足解消
参加者の意識の向上

✓ 新たな取り組み

◇ 講演時間の確保に対して

1. 口頭発表希望者が多い場合、セッションの時間内に収まるように、人数調整を行う。
具体的には、他の講演形式に回ってもらう。
2. この人数調整はM1の口頭発表を無条件に優先せず集録の査読で公平に判断する。

◇ 準備不足の解消と意識の向上に対して

集録の提出をレジストレーション時に変更



研究会の質の底上げ

夏の学校での発表と準備

...

講演申し込みの準備



1. 発表内容の検討

研究成果の発表 or 論文のレビュー のどちらかを決めます。

2. 分科会の選択

「重力・宇宙論」「コンパクトオブジェクト」「銀河・銀河団」
「太陽・恒星」「星間現象」「星形成・惑星系」「観測機器」
「宇宙素粒子」

の中から自分が講演したい分科会を選ぶ。

3. 講演種類の選択

- ◇ a講演： 口頭発表 (発表12分＋質問3分)
- ◇ b講演： ポスター発表＋口頭発表 (発表3分・質問なし)
- ◇ c講演： ポスター発表

の中から選択。

4. 集録の作成 (2013年度の変更点！)

講演者はレジストレーション時に集録を提出してもらいます。
詳細は、後ページにて。

5. レジストレーション

集録の作成について



1. 集録とは。

- ❖自身の発表内容を論文形式にまとめたもの。
- ❖発表を聞いてもらう人達により発表をわかりやすく聞いてもらうためにも大事な資料となる。
- ❖援助・後援をして頂いた各機関への報告書としても非常に重要である。

2. 集録作成時の注意

- スライドの提出は禁止
- 細かな章立て (例：Introduction, Methods, Result, Discussion, Conclusion) は自由であるがTitle、Abstractは必ず書くこと。
(いくつかの例は事前に提示します)
- 夏の学校終了後に発表内容を参照する為の資料にもなるので、後から読んでもわかりやすい資料を作成する。
- **独自の見解・考察が含まれていれば、論文レビューも強く奨励する。**
- ページ数は4ページ程度を目安に作成すること。
- 参考論文は3本以上を努力目標に。

レジストレーションについて

...

講演者がレジスト時に提出するもの



講演情報

講演形式(a,b,c)
分科会
タイトル
アブストラクト



集録

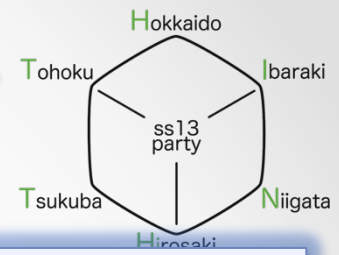
アブストラクトは、タイトルと共に最も目立ち、一番読まれる箇所です。
査読される際にこの部分が重要になります。したがって、簡潔かつ内容を正確に表現しなければなりません。夏の学校事務局ではその重要性を鑑み、
集録とは別にアブストラクトのみで提出をお願いしています。

a,b,cどの講演でも集録を提出しないと、発表できません！

レジスト~~ル~~切日

...

レジストレーションの切日について



| | |
|------------|---------------|
| a講演 & b講演 | 5月28日正午 (厳守) |
| c講演 & 参加受付 | 6月28日正午※ (厳守) |

※ただしポスター講演の上限に達し次第受付を終了します。
(参加受付は6月28日まで行います)

※例年より2～3週間ほど早まります！！

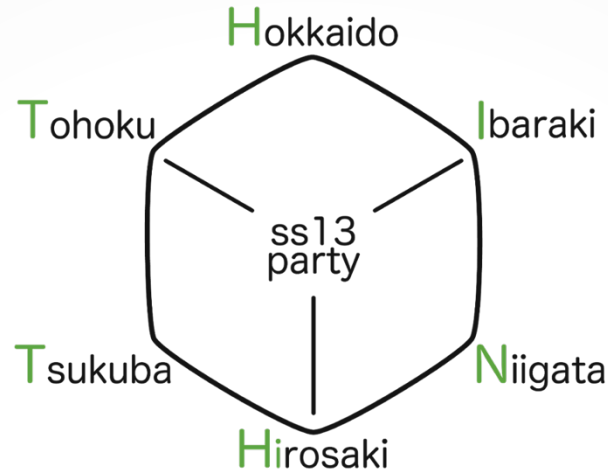
各研究室、特に新M1の方への
徹底周知をお願い致します。



詳細情報は夏の学校のホームページ
にて随時掲載致します！

詳しくはwebで！

<http://astro-wakate.sakura.ne.jp/ss2013/web/index.html>



THiNK Astronomy
THiNK Astrophysics

事務局一同

たくさんのご参加お待ちしております！